

地域で創る自然エネルギーで豊かな暮らしを

みやぎ地域エネルギー合同会社

3.11東日本大震災。私たちは、電気やガスなどのエネルギーがどれほど危うい基盤の上にあるかを知りました。みやぎ地域エネルギー合同会社は、地域で創る自然エネルギーによって、安心で環境に優しく、持続可能な暮らしをみやぎ(宮城県内、周辺)に育みます。

理念

地域の、地域による、地域のための自然エネルギー事業を目指して

みやぎの豊富な自然エネルギー資源を地域自らが活用し、
資源も資金も地域で循環する事業・コミュニティパワーを実践します。

みやぎ各地での自然エネルギー地産自立を目指します。

みやぎ地域の未来と子供達のための事業を展開していきます。

設立	平成29年5月8日
代表	浦井 彰
副代表	小野幸助・諸岡浩子・新沼慎一・他1名
住所	宮城県仙台市青葉区北根3-11-11
連絡先	info@miyaene.co.jp



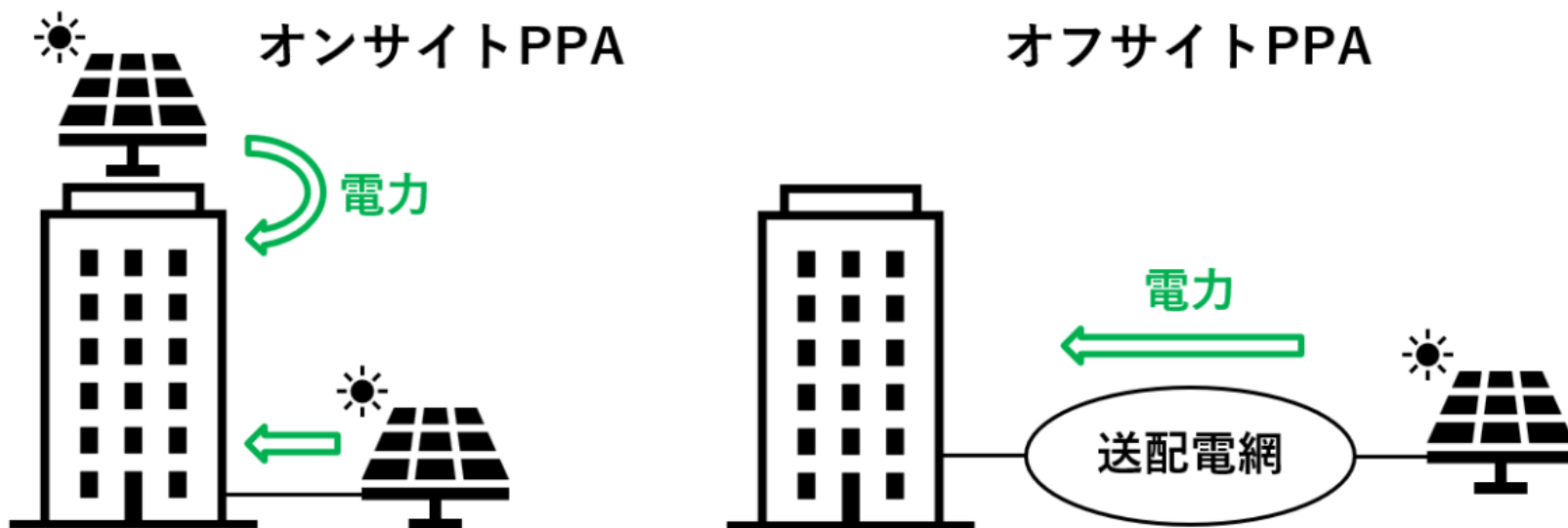


みやぎ地域協同発電所第1・2号事業

- ◆屋根を有効利用する自家消費型太陽光発電所
- ◆民間型オンサイトPPA事業
- ◆市民参加・出資型(小規模私募債等)

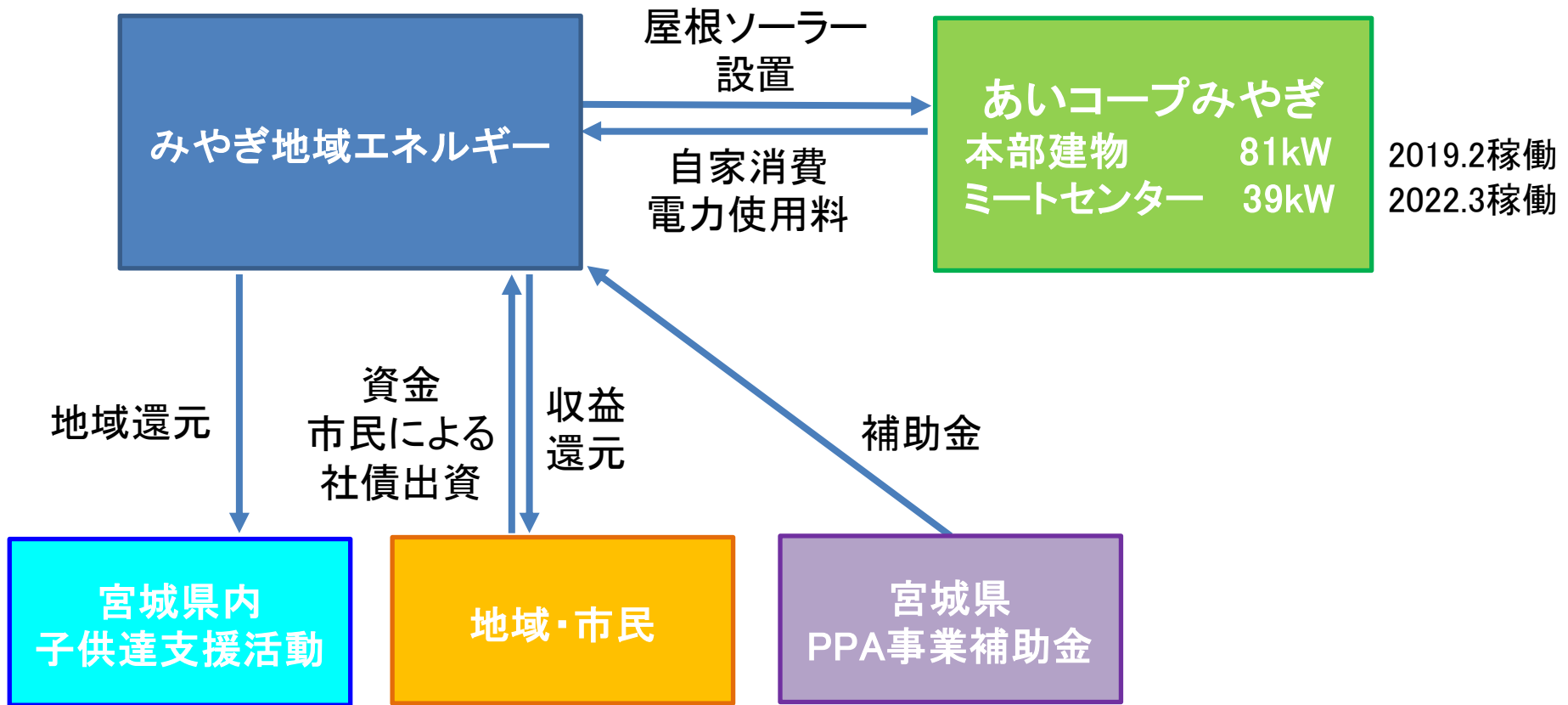
みやぎ地域エネルギー合同会社

●オンサイト PPA とオフサイト PPA の電力利用イメージ



- 再生可能エネルギー電力を自家消費電力の一部として調達する方法
- 再エネ発電事業者は、自家消費したい事業者の建物屋根や敷地に再エネ設備設置し自家消費電力を販売する。
- **再エネ電力を長期的・安定的に安く調達できる**
- **出力抑制の影響を受けない**
- 長期(十数年)の契約が必要 → 民間同士の契約ではハードルが高い(信用力) 公共施設での活用が多い
- 余剰電力(自家消費以上の発電)が出た場合の対応が難しい

みやぎ地域協同発電所 市民参加型・民間地域PPA事業



12～15年後に太陽光設備は、あいコープみやぎへ無償提供

2023年 1～10月 1号事業と2号事業合わせて
消費電力全体の約14%を自家消費
昼間の消費電力では約24%



本社屋屋根



ミートセンター屋根

2022年 地域の子どもたちのためへの活動へ寄附スタート 2023年 2つの活動に寄附実施



子どもの笑顔を真ん中に！

放課後子どもクラブBremenとは

震災から立ち上がり、石巻から世界に羽ばたく子どもを育てよう！
そう思って自宅の1室から始めた放課後の子どもの居場所です。
日本の放課後をより安全でより豊かにするために
私たちのチームは走り続けています。

